

ツール・ド・北海道2009概要

1 はじめに

我が国最大の自転車ステージレース「ツール・ド・北海道2009」は、今年で23回目を迎え、9月9日(水)から13日(日)までの5日間、道北、道央地域を中心に開催される。初日は、旭川市のタイムトライアルでスタート、最終日は、札幌市モエレ沼公園のクリテリウムで終える6ステージ、5日間のレースである。開催期間中の総走行距離は705Kmとなり、道北コースでの大会は3年振りとなる。

2 大会概要

初日の第1ステージ、タイムトライアルは、旭川市石狩川左岸河川敷地の特設コースで行われる。そして午後からの第2ステージは、ロードレースとなり、同場所からスタートし、幌加内峠を経て走行距離97Kmのコースを走り抜け、士別市(ふどう公園内)にフィニッシュする。

2日目の第3ステージは、名寄市(市役所前)をスタートし、美深町を経て日本海沿線の利尻サロベツ国立公園内を疾走し、走行距離183Kmのコースを走り抜け、豊富町(スポーツセンター前)にフィニッシュする。



3日目の第4ステージは、豊富町(役場前)をスタートし、松山峠を経て、走行距離182Kmのコースを走り抜け、下川町(にぎわいの広場)にフィニッシュする。

4日目のロード最終、第5ステージは、旭川市(大雪アリーナ前)からスタートし、大雪山国立公園内の白金温泉を抜け、十勝岳山麓から上富良野町に下り、富良野市街を経て三笠市内を通過後、走行距離181Kmのコースを岩見沢市(いわみざわ公園遊園地駐車場)にフィニッシュする。

5日目の最終日、第6ステージは、前回同様、札幌市モエレ沼公園の特設コース、1周2.75kmを22周するクリテリウム競技となる。

本大会のコースは、比較的平坦な山間部を走るコースから標高1,000m以上の急峻な山岳地帯を越える難度の高いコース、そして日本海の青海原沿線を走る快適

コース等、北海道ならではのコースを設定してある。

また、参加チームは、国内外登録、学生の合計20チームの選手を予定している。

3 各ステージの紹介

○ 第1ステージ

大会初日となる9月9日(水)の第1ステージは、旭川市石狩川左岸河川敷地内において1.1Kmの個人タイムトライアルを行う。金星橋下付近からスタートしてリベライン旭川パークフラワーランド内の円形型噴水を周って走行する往復コースで噴水の周りを如何に走行するかが優勝のポイントに繋がる。

○ 第2ステージ

第1ステージ、個人タイムトライアル終了後、午後、同場所からスタート、旭川市の郊外部を走り抜け、最初の山岳ポイントのある25.9Km地点、標高474mの江丹別峠に向かう。そこから急峻なS字カーブを下って比較的平坦な国道275号線を走行し、最初のホットスポットのある40.8km地点、幌加内町を通過する。幌加内町を過ぎ平坦な国道を更に走り続け82Km地点付近から山間部に入り、士別峠を越えて温根別の市街地に入る。国道239号を抜け市道に入ると、このステージの見所である大雪山系など抜群の見晴らしを誇るサホークランド士別から羊と雲の丘を疾走し、急な下り坂を一騎に走り抜けふどう公園のフィニッシュに向かう。



途中、牛舎と民家の間を抜け箇所も数箇所あり注意を要する。また、フィニッシュの約5Km地点手前からは、道路幅員が急に狭くなり急カーブも多く、また、アップダウンもあり波状丘陵地帯の厳しいコースである。

○ 第3ステージ

大会2日目、9月10日(木)第3ステージは、名寄市役所前からスタートし、最初の山岳ポイントのある27.2Km地点、標高442mの幌加内町美深峠へと走る。峠の頂上から急峻な坂道を一騎に下り、美深橋から美深町市街地、最初のホット

スポットのある45. 9Km地点、美深高校前を通過する。やや交通量の多い国道40号から75. 4Km地点、音威子府村役場前の補給所を経て、天塩川沿線国道を走り抜け、2回目の山岳ポイント、104. 1Km地点、標高134mの中川町・花咲トンネルを通過し遠別町へと疾走する。125Km地点あたりから日本海オロロンラインの直線コースに入り、2回目のホットスポット、143. 5Km地点、天塩町役場前を通過し、日本海沿線、左に利尻富士そして右側丘陵の白い風車を横目に疾走、北緯45度通過地点の幌延町から一騎に豊富町「スポーツセンター前」のフィニッシュに向かう。

初めは平坦なコース、除々に山岳コースに移り、日本海、サロベツ原野と恵まれた北海道の大自然を堪能しながらレースを展開するが、トンネル、覆道も多く、更に天候が悪ければ日本海から吹き上げる横風を浴びることになり過酷のコースになる。

○ 第4ステージ

大会3日目、9月11日(金)第4ステージは、豊富町役場前からスタートし、豊富温泉街を通り、最初の山岳ポイントのある43. 9Km地点、標高437m知駒岳山麓を通過、山麓の頂上から一騎にS字カーブの坂道を下り、国道275号から最初のホットスポットがある59. 5Km地点、中頓別森林組合前を通過し、更に急カーブの多い山間部を下りながら2回目のホットスポット、88. 9Km地点、枝幸町歌登小学校前を通過し、そこから約11km先の補給所を経て2回目の山岳ポイントのある139. 4Km地点、標高413m、美深松山峠に入る。峠越えから雄武町を経て長い山坂を下りながら、サルン牧場を通過し、下川町「にぎわいの広場前」のフィニッシュに向かう。

このステージは、美深松山峠を越えてから一騎に山間部の長い坂道を下りながらフィニッシュに向かうスピードの勝負である。

○ 第5ステージ

大会4日目、9月12日(土)第5ステージは、再び旭川市に戻り大雪アリーナ前からスタートし、神楽岡公園交差点から東神楽町市街、そして大雪山国立公園内の東川町から最初のホットスポットがある38. 5Km地点、美瑛町役場前を通過、十勝岳連峰を目前に白金温泉、望岳台を抜け最初の山岳ポイントがある67. 1Km地点、標高1,050mの吹上温泉前を通過、急カーブの多い急峻な坂道を一騎に下り、中富良野町91. 5Km地点の補給所を経て2回目のホットスポット、102. 0K

m地点、富良野市街ケンタッキー前を通過する。芦別市、三笠市の山間部を経て岩見沢市いわみざわ公園の駐車場にてフィニッシュする。

このステージはやはり十勝岳の標高1、050mの山岳コースでの駆け引きが勝負の大きなポイントになる。



○ 第6ステージ

大会5日目、最終日9月13日(日)第6ステージは、昨年同様、札幌市モエレ沼公園の特設コースを周回する1周2.75Kmのコースで同じコースを22周61Kmのクリテリウム競技となる。

クリテリウムは、スタートとフィニッシュが同じ地点で周回する競技である。

モエレ山の中腹まで登るコースで15m程の高低差であるが、22周すると3、000mを登ることになり、山を下ってから転倒する者もいて選手にとっては過酷な競技である。

最終日に相応しいスピードと力強い山登りの迫力を観戦できる競技である。